

1 車から人を守る安全対策について

ただいまの^{おのづか}小野塚 ^{おうき}央樹議員のご質問にお答え申し上げます。

車から人を守る安全対策についてであります。群馬県警察本部でまとめた、平成30年の沼田市内における交通事故発生件数は196件、その内、交差点及び交差点付近での事故が117件、約60パーセントとなっております。最近、歩行者が信号待ちしているところに車が突っ込む事故が多発する中、その原因は、スピードの出しすぎや信号見落とし等から発生するものがほとんどであり、交差点での事故防止が重要な対策であると認識しております。このため、車を運転する人や歩行者などに、交通ルールや交通マナーを守ることの大切さを広める運動を推進しております。また、事故発生時の歩行者被害を最小限にするため、鉄製ポールやガードレール等の設置について、各道路管理者で行っております。

通学路における安全対策としましては、「沼田市通学路交通安全プ

プログラム」に沿って、毎年5月末までに実施する各小学校の通学路点検を受けて、夏休み期間中に道路管理者、学校、警察、教育委員会等が合同で点検を実施し、危険箇所の把握や改善に向けた検討を重ね、グリーンベルトの新設やポストコーンの設置、薄くなった横断歩道や白線の補修等の整備を行ってきております。

今後も、道路管理者や警察など関係する団体が一体となって交通安全運動を推進するとともに、歩道等の整備を計画的に進め、歩行者の安全対策に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます。おのづか おうき
小野塚 央樹議員のご質問に対する答弁と
させていただきます。